

都市再生整備計画 事後評価シート
長津田駅周辺地区

平成26年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

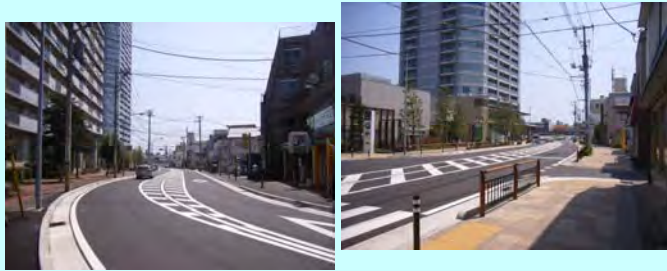
都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	長津田駅周辺地区			面積	52ha		
交付期間	平成21年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	2,205百万	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	市道長津田129号線拡幅整備、市道長津田164号線拡幅整備、区画街路1号線拡幅整備、区画道路改修、緑区民文化センター整備									
			提案事業	満足度調査									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	区画道路改修	市による単独事業にて実施したため。			満足度調査の指標に関連するが、事業全体を考慮した結果、指標及び数値目標は据え置くこととする。					
			提案事業	満足度調査	最終年度に残工事があるため効果把握の時期として適切でないため。			指標及び数値目標への影響なし。					
	新たに追加した事業		基幹事業	長津田駅北口歩行者専用通路	より安全で快適な歩行者ネットワークを構成するため。			満足度調査の指標に関連するが、事業全体を考慮した結果、指標及び数値目標は据え置くこととする。					
			提案事業										
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
		変更	平成21年度～平成24年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	北口バス利用者数	人/日	0人	H20	7,000人	H26		測定不能	—	あり	事後評価の確定時点においてバス運行が実施されない見込みのため測定不能であるが、バス運行が可能な都市基盤や区民文化センターの整備に伴うバス利用者数の増加は見込まれる。ただし、運行予定のバス事業者との調整の中で運行本数が想定未満のものとなり目標が達成できない見込みとなった。	平成27年3月
	指標2	区民文化センターの利用者数	人/年	0人	H20	75,000人	H26		75,027人	○	あり	当初計画どおりの区民文化センターが整備されたことによる。平成25年10月5日より開業しており、地域の文化活動機会の増加が見込まれる。	平成27年6月
指標3	満足度調査	—	1	H20	1.2	H26		1.2046	○	あり	歩道の設置されたゆとりある道路環境が生まれたことで満足度が向上した。区民文化センターの開業、歩行者専用通路の完成に伴い、満足度のさらなる向上が見込まれる。	平成27年3月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	北口バス運行に伴う満足度調査	—	0	H20			+0.3166			これまでバス運行のなかった地区であったことから、地区近隣の徒歩圏内の住民への調査においてもプラスの評価数値がでており、一定程度の満足度が得られている。遠方のバス利用がより多く想定される方々にはさらに高い満足度が見込まれる。	平成27年3月	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・街が新しく生まれ変わることへの期待感が地域にもたらされ、事業は街の活性化の一躍を担った。 ・道路整備により歩道が広くなり安全で安心できる歩行環境の実感が地域にもたらされている。 												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた								
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
住民参加プロセス		①住民参加によるアート作品の設置 ②現場見学会 ③事業区域開放による地元商店街活動支援 ④地元自治会への事業進捗報告		都市再生整備計画に記載し、実施できた				○		市民主体のまちづくり活動への支援			
持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた									
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

長津田駅周辺地区(神奈川県横浜市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
駅北口再開発や駅前広場整備にあわせ、駅周辺の都市基盤の整備や文化施設の整備を行い、安全で快適な歩行者ネットワークの形成や新たな地域の文化活動の活性化を図る。	北口バス利用者数	単位: 人/日	0	H20	7,000	H26	測定不能	—
	区民文化センターの利用者数	単位: 人/日	0	H20	75,000	H26	75,027	H25
	満足度調査	単位: —	1	H20	1.2	H26	1.2046	H25
	北口バス運行に伴う満足度調査	単位: —	0	H20			+0.3166	H25

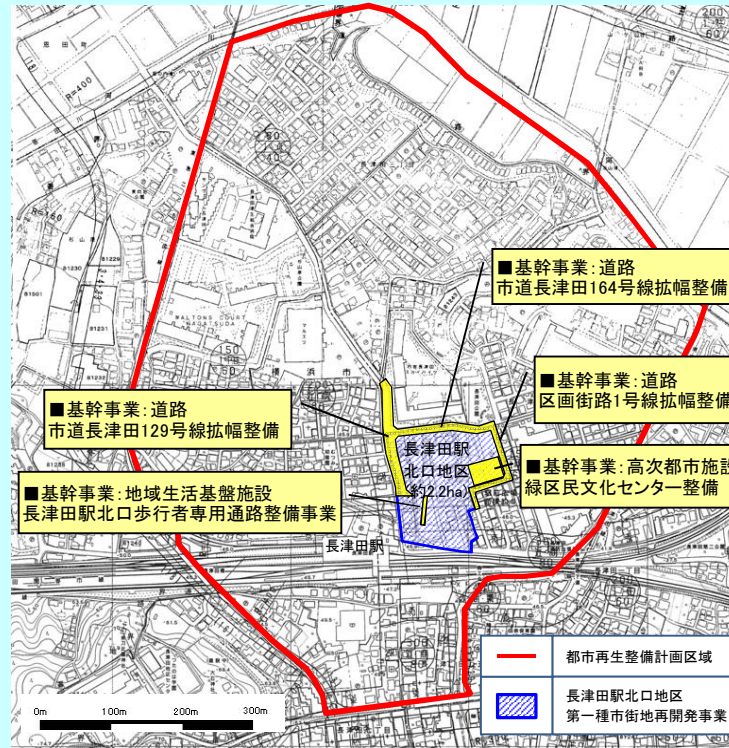
■市道長津田129号線拡幅整備



■長津田駅北口歩行者専用通路整備事業



整備中(イメージパース)



■市道長津田164号線拡幅整備



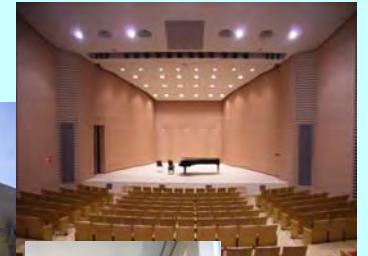
■区画街路1号線拡幅整備



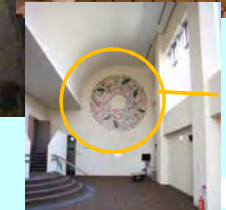
■緑区民文化センター整備



外観



ホール



住民参加によるアート作品

ホワイエ

まちの課題の変化

- ・駅周辺の道路網が整備され、朝夕の交通混雑等が改善し歩車ともに通行の安全性が向上した。
- ・これまでの駅前が低、未利用だった状況が改善し、都市型住宅による約200世帯の集積された。また商業施設や区民文化センターができることで駅前の賑わいや文化的機能が創出された。
- ・地域の文化活動の拠点となる区民文化センターが整備され、特色のあるまちづくりにも繋がる文化芸術活動が始まっている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・「市道長津田34号、129号拡幅整備事業」や「長津田駅北口線」整備など、周辺道路について必要に応じて整備可能な場所を着実に整備していく。
- ・区民文化センターを地域文化の振興を図る拠点として地域社会全体にアートをもって貢献できるよう活用していく。

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
長津田駅周辺地区

平成28年3月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	北口バス利用者数	人/日	0人	7,000人	測定不能	確定 見込み	—	あり なし	●	1514人	H27年2月	△	バス事業者の運行本数が想定未満であった。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	バスへのニーズはあるが運行本数が少なく目標数値に達しなかった。その後、運行本数が増える等、徐々に見直されている。
指標2	区民文化センターの利用者数	人/年	0人	75,000人	75,027人	確定 見込み	○	あり なし	●	106,614人	H27年6月	○		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値の1.4倍となった。下半期の方が利用者数が多く、地域に浸透し、多くの方に利用され始めている。
指標3	満足度調査	—	1	1.2	1.2046	確定 見込み	○	あり なし	●	1,3495	H27年2月	○		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路整備や歩行環境の改善が満足度の向上に寄与した。区民文化センターが出来た効果も見られた。
指標4						確定 見込み		あり なし			H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし			H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	北口バス運行に伴う満足度調査	—	0	/	+0.3166	確定 見込み	●	/	/	-0.1362	H27年2月	/	期待感に対し、実際のバス運行本数の少なさが満足度を下げた。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	回答属性をバス利用者に限ると+0.0769とプラスの評価(最高点+2)となり、利用者にとっては一定程度の評価がある。
その他の数値指標2				/	/	確定 見込み	/	/	/	/	H 年月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3				/	/	確定 見込み	/	/	/	/	H 年月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	駅周辺の交通環境の安全性確保	道路管理者による適切な維持管理は行っているが、駅利用者の交通マナー違反等が多くみられるため、地元の住民の方や地元の警察署、道路管理者で議論をした。	地元の警察署、道路管理者で対策を検討。	交通マナーの啓発。
	区民文化センターによる文化的機能の創出	横浜市都市計画マスタープラン緑区プランへの位置付け。	「文化振興の拠点となる区民文化センターを中心に、文化・芸術イベント等を開催し、地域住民が身近に文化・芸術に触れあえる環境の創出を図ります。」と明記。	区民文化センターをより多く利用してもらえるよう、周知を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	広域的な道路ネットワークの拡充	未整備となっている周辺の都市計画道路に関連する検討を実施。	周辺の都市計画道路の概略や課題を整理した。	道路整備の事業性、実現に向けた方策の検討。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

ながつ だ えきしゅうへん
長津田駅周辺地区

かながわ 神奈川県 よこはまし 横浜市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	長津田駅周辺地区	面積	52 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 24 年度				

目標

駅北口再開発や駅前広場整備にあわせ、駅周辺の都市基盤の整備や文化施設の整備を行い、安全で快適な歩行者ネットワークの形成や新たな地域の文化活動の活性化を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

長津田駅は、JR横浜線、東急田園都市線及びきどもの国線の乗換駅として1日約12万人の乗車人員を数える、本市北部の主要な交通結節点となっています。しかし、駅周辺は駅前広場や道路等の公共施設が未整備のまま市街地が形成されており、交通安全や防災などの面で問題になっています。また周辺の奈良、あかね台及び長津田みなみ台では大規模な土地区画整理事業が実施されており、駅の利用圏の人口増加に見合った拠点としての役割が期待されています。これらの課題に対処するため、駅北口では市街地再開発事業等による街づくりの検討を行っており、南口では駅前広場や道路の整備を、それぞれ進めています。駅北口では平成19年12月に長津田駅第一種市街地再開発事業が都市計画決定され、事業化が進められているほか、周辺の公共施設整備についても検討が進められています。また駅南口では都市計画道路長津田駅南口線の都市計画決定が平成13年に、事業認可が平成14年に行われ、事業が進められています。

課題

- ・駅周辺の都市基盤の整備
(駅周辺の駅前広場や周辺道路等が未整備のため、朝夕の交通混雑等により歩車ともに通行上危険な状態にある)
- ・駅前の都市機能の集積
(特に駅北口においては、低・未利用地が広がっており、駅前の賑わい等を生むと土地利用がされていない)
- ・特色あるまちづくりの一環としての文化芸術活動の強化
(地域の文化活動の拠点となる施設の整備)

将来ビジョン(中長期)

- ・横浜市都市計画マスタープラン・緑区プラン

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
北口バス利用者数	人/日	公共施設・駅周辺の核施設整備による北口バス利用者数の増加を集計	公共施設整備によりバス機能等が拡充することにより駅利用者が増加	0人	H20	7,000人	H26
区民文化センターの利用者数	人/年	文化施設の整備による施設利用者数を集計	核施設の整備により、地域の文化活動機会の増加	0人	H20	75,000人	H26
満足度調査	—	住みやすさや暮らしやすさについてアンケートを実施	都市基盤・都市機能の整備により、まちの魅力が増加する	1	H20	1.2	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>駅周辺の道路整備等により交通環境を改善し、安全で快適な歩行者ネットワークの形成を図る</p>	<p>市道長津田129号線拡幅整備 市道長津田164号線拡幅整備 区画街路1号線拡幅整備 長津田駅北口歩行者専用通路整備</p>
<p>特色あるまちづくりの一環としての文化芸術活動の活性化を図る</p>	<p>緑区民文化センター整備</p>
<p>その他</p>	

